

4. 弘前大学チェルノブイリ視察団の派遣

(学内対応分)

実施時期又は期間

平成23年12月1日～平成23年12月6日

対応部局及び人員

佐藤被ばく医療総合研究所長・医学研究科長（当時）を団長とする本学教職員8名

実施の背景・目的

平成23年9月29日に、本学と福島県浪江町は、放射線問題解決及び復興・復旧を目指した支援及び研究について連携協定の締結を行った。これを受け、浪江町を中心とした地域の復興を目指した取り組みのためには、チェルノブイリ原子力発電所事故の実態とその後の経過、そして現在の状況等を実際に見聞きし確かめることが必要となった。

実施概要

平成23年12月1日から6日間の日程で、チェルノブイリ原子力発電所をはじめとする以下の関連施設の視察、現地の被災住民及び専門家との意見交換等を通じて、貴重な情報を得ることができ、今後の復旧・復興に役立つものとなった。

- ・チェルノブイリ原子力発電所
- ・チェルノブイリ博物館
- ・ウクライナ歴史博物館
- ・市民団体”Zemlyaki”との意見交換
- ・ウクライナ放射線医学研究センター

効果又は結果

今回の視察を踏まえ、より専門的な観点での視察が重要であることから、今後、医師、看護師、放射線技師等の専門家の派遣が必要不可欠である。

担当部局名

総務部総務課



チェルノブイリ原発資料室で説明を受ける視察団



チェルノブイリ博物館で説明を受ける視察団



放射線医学研究センターでの意見交換



放射線医学研究センターでの意見交換



チェルノブイリ原子力発電所4号炉